



2020年3月期 決算説明資料

東京製綱株式会社

(TOKYO ROPE MFG. CO., LTD.)

2020年5月29日

# 1. 2020年3月期決算概要および 新型コロナウイルスの影響について

## 2. セグメント別の状況

## 3. 成長戦略の進捗

# 2020年3月期 決算ハイライト

(金額:百万円)

	2019年3月期		2020年3月期		前年同期比	
	金額	(売上高比)	金額	(売上高比)	金額	(増減比)
売上高	63,967		63,090		△877	(△1.4%)
営業利益	854	(1.3%)	319	(0.5%)	△535	(△62.6%)
経常利益	908	(1.4%)	446	(0.7%)	△462	(△50.8%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	153	(0.2%)	△2,434	(△3.9%)	△2,587	—

## 2020年3月期 決算ポイント

売り上げはほぼ横ばい、営業利益は概ね半減  
特別損益での減損等計上により当期純損益は大幅マイナスとなった

**売上高** 630億90百万円 〔前期比  $\Delta$ 1.4%〕

国内外の防災製品が好調に推移したことおよび産業機械の大口受注により増収なるもスチールコード製品の販売減によりほぼ横ばい

**営業利益** 3億19百万円 〔前期比  $\Delta$ 62.6%〕

国内防災製品が増益となるもスチールコード製品の収益悪化により減益

**親会社株主に帰属する  
当期純利益**  $\Delta$ 24億34百万円 〔前期 1億53百万円〕

国内子会社の減損損失、投資有価証券評価損を特別損失に計上

# 2020年3月期 決算ポイント

2020年3月期  
特別損益額

△2,452百万円

## 主な内訳

CFCC北上工場減損損失	△1,775百万円
投資有価証券評価損	△1,147百万円
投資有価証券売却益	168百万円
持分変動利益	160百万円

## CFCC北上工場減損損失について

- CFCC事業は今年度以降世界のあらゆる地域でニーズがあるという状況には変わらないが、2期連続赤字および今期はCOVID19の影響が予測しきれないことから、主に海外送電線用CFCC生産拠点である国内工場に関して会計基準に従い、減損の判断に至った。これによるキャッシュの流出はなし
- 新型コロナの影響による各国の送電線プロジェクト進捗に不透明感はあるものの、当社としてはこれまでの取り組み成果の刈り取りに注力し、収益の向上に努める



北上工場(岩手県)

# キャッシュ・フロー

営業活動：売掛債権増加および海外橋梁の棚卸資産増加により対前年比減少

投資活動：当期は設備投資を抑制

財務活動：子会社合併化資金入金、コロナ対策で手元資金を積み上げ

(金額：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期
現金及び現金同等物の期首残高	4,352	3,308
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,247	559
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,029	△2,116
フリー・キャッシュ・フロー	△782	△1,557
財務活動によるキャッシュ・フロー	△268	4,460
その他(為替換算差・新規連結に伴う増減)	7	48
現金及び現金同等物の期末残高	3,308	6,259

# 設備投資の状況

2020年3月期  
設備投資額

2,617百万円

## 主な投資

スチールコード北上工場生産性向上投資	4.3億円
鋼索鋼線土浦工場 戦略投資	3.6億円
CFCC関連設備	3.3億円
粉末冶金製品の生産能力増強	2.1億円
その他維持更新投資	12.8億円

## 2021年3月期 見通し

現時点では、コロナウイルスの影響があり予想が困難であるため2021年3月期見通しは未定としております

今後、業績予想が可能となった段階で速やかに公表いたします

また、次期中期計画につきましては、コロナ後の世界を見極める必要があり、現在、策定を中断しております

## 配当方針

2020年3月期は配当を見送り

年 度	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期 予定
配 当 (年度当り)	40.0円/株	0.0円/株	—
配当性向 (連結)	420.4%	—	—

2021年3月期は現時点では業績予想の算定が困難であることから未定としております

## 新型コロナウイルスの影響について

### 【鋼索鋼線事業】 現時点では影響は限定的

- エレベーターロープ

国内の新設需要は建設現場の一時ストップの影響がみられたが、工事再開。輸出案件は影響なし。中国市場は好転

- 建設機械用ロープ

新設では建機輸出案件ストップなどの影響が出ているが、影響は限定的。交換用は影響なし

- 鉄鋼向けロープ

高炉の休止が発表されており、今後、影響が出る可能性あり

- 鋼線

自動車関連の一部顧客に影響が出ている

## 新型コロナウイルスの影響について

### 【スチールコード】 自動車産業と連動し影響大

- タイヤコード

国内タイヤ生産は4-6月40%減、7-9月30%減、10-12月20%減の見込。並行して在庫調整が入るため、タイヤコードの発注はさらに厳しい

正常化は早くて2021年1月以降と想定

- ホースワイヤ

建設機械向けホースを中心に低迷。一部客先で操業調整実施中

## 新型コロナウイルスの影響について

### 【開発製品】 国内は影響なし、海外は想定困難

- 道路安全施設

現時点でほとんど影響無し

加えてコロナ禍終息後の経済対策予算による発注に期待

- CFCC・海外防災

CFCC電線、海外防災製品は、営業活動が困難な状況であり、入札の延期や納入時期遅延の発生が見込まれる。  
CFCC土木は、北米にて橋梁の緊張材案件を受注し好調

## 新型コロナウイルスの影響について

### 【その他】

- 粉末冶金製品

自動車各メーカーが工場停止や生産調整を実施する影響により、受注が激減し、売上大幅減を予測

- 産業機械

石油化学業界（特に自動車向け）で設備投資計画の中断や延期あり

メンテナンス関連では、計画していた定期修理の中止や延期が決定したユーザーあり

1. 2020年3月期決算概要および  
新型コロナウイルスの影響について

2. セグメント別の状況

3. 成長戦略の進捗

## セグメント別実績

	2019年3月期		2020年3月期		前年同期比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
鋼索鋼線	28,084	1,523	27,266	1,411	△818	△111
スチールコード	10,811	△939	9,717	△1,660	△1,094	△722
開発製品	14,482	△737	15,810	△255	+1,329	+482
不動産	1,201	329	1,288	318	+87	△11
その他	9,387	678	9,006	505	△380	△173
合計	63,967	854	63,090	319	△877	△535

その他：石油・超硬合金・産業機械

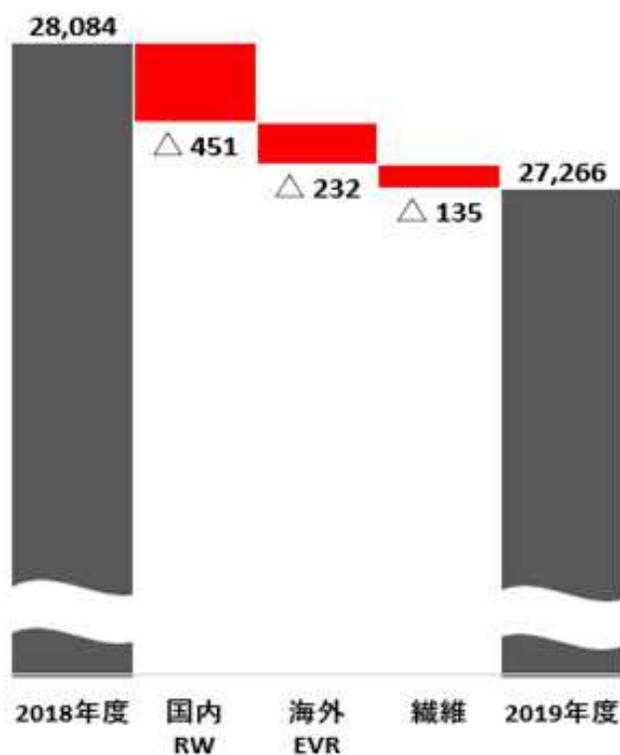
# 鋼索鋼線セグメント

(単位:百万円)

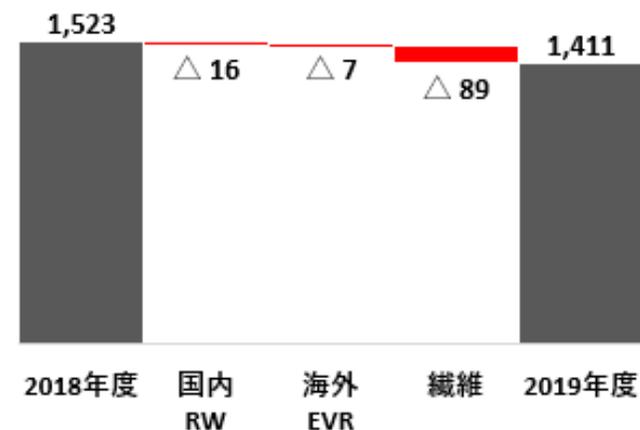
国内RWはオリンピック需要終息等による景気減退から減収

繊維ロープは水産向けが漁獲高の減少により不調のため減収減益

国内RW: 国内で生産販売、輸出している鋼索製品およびワイヤ製品  
 海外EVR: 海外で生産販売しているエレベータ用のロープ  
 繊維: 水産、船舶、陸上用などに使用される合成繊維のロープ



売上高



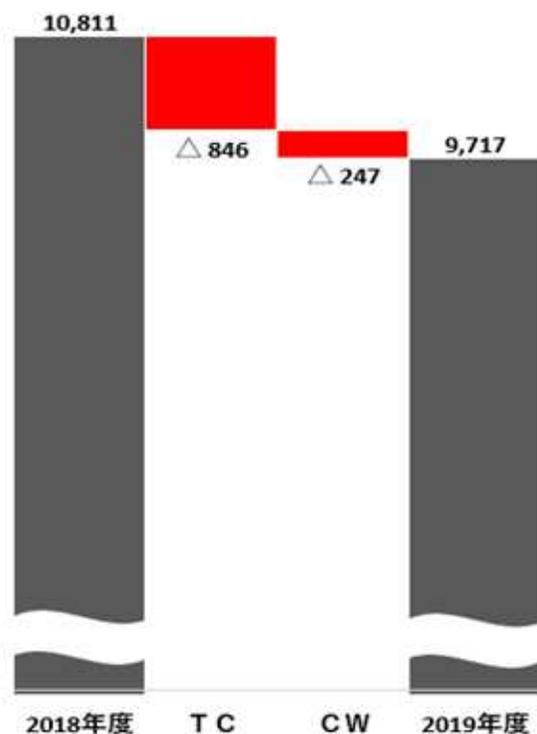
営業利益

# スチールコードセグメント

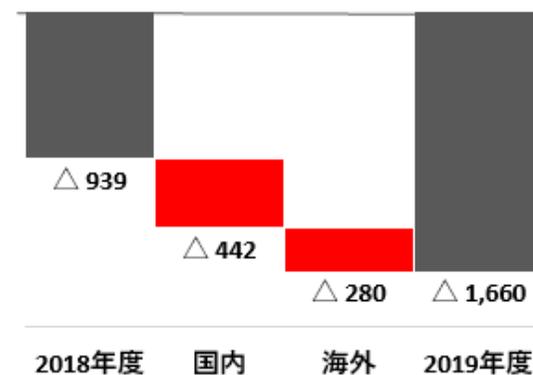
(単位:百万円)

線材メーカー台風被災に伴う供給不安に起因する顧客での発注先切替え、および暖冬影響による冬タイヤ販売不振による受注減、ホースワイヤの建機需要減により減収減益

CW…コアワイヤおよび  
ソーワイヤ



売上高



営業利益

## スチールコードセグメント(国内工場のトピックス)

### 国内製造子会社の合併化とその進捗

- 国内製造子会社である東綱スチールコードにおいて高麗製鋼グループの出資を受け入れ合併化(当社出資比率53%)
- 収益改善計画であるマスタープランを策定し、総額30億円をかけて設備の大幅更新を行い、2021年度の黒字化を目指す
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、市場環境は非常に厳しい状況にあるが、コロナ後の世界を見据え前倒しで計画を実行中

## スチールコードセグメント(中国工場のトピックス)

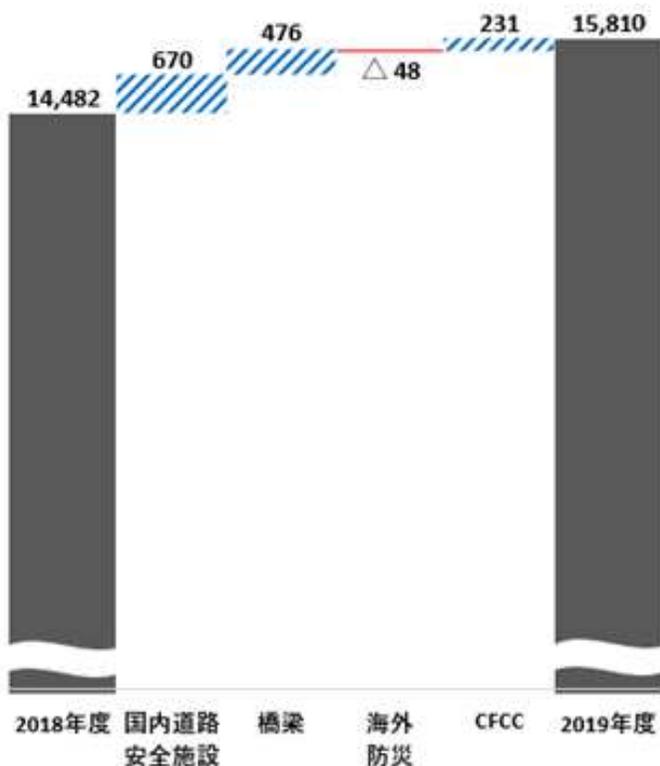
### 中国製造子会社の希望退職募集について

- 中国製造子会社である東京製綱(常州)有限公司において、希望退職者募集を実施。工場保守要員等を除く全社員と労働契約解除を合意
- 2021年3月期の営業損益は改善、キャッシュの流出が最小限化される
- 連結決算に与える影響なし(TSK単体決算で約33億の子会社株式評価損・貸倒引当金を計上)

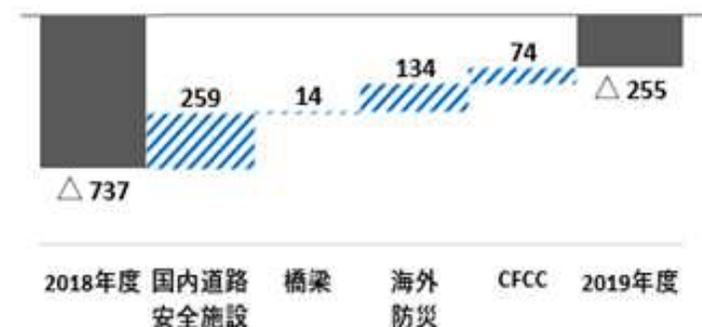
# 開発セグメント

(単位:百万円)

国内の防災製品・橋梁が好調に推移し増収増益。海外防災製品はカザフスタンの期ずれのため減収となるもフィリピンが増収増益。CFCCはインド・ブラジル・タイでの実績がつき増収増益。目標であったセグメント黒字化は未達成



売上高



営業利益

# 開発セグメント(トピックス)

## 大型橋梁物件 ①

### 気仙沼湾横断橋

- 国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所発注の気仙沼湾横断橋向けに斜張橋用ケーブルとしてNEW-PWSを約200t製作・納入
- 現在、主桁とケーブルの架設工を施工中。12月完成予定
- 気仙沼市の復興のシンボルに当社技術が貢献



提供:国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所

## 開発セグメント(トピックス)

### 大型橋梁物件 ②

#### ルーマニア ブレイラ橋

- EU圏内では4番目の規模となるブレイラ橋のメインケーブルワイヤ(約7000t)ハンガーケーブル(約400t)をIHIインフラシステムより受注し製作中。メインケーブルワイヤは20年度内に全量を納入予定



# 1. 2020年3月期決算概要および 新型コロナウイルスの影響について

## 2. セグメント別の状況

## 3. 成長戦略の進捗

# 成長戦略の進捗状況 1

## CFCC®土木事業の進捗

### Harry Nice Bridgeを受注

- メリーランド州運輸局の橋梁架け替えプロジェクトにてパイル用補強材として、CFCC® 480km受注



HPより転載

[https://mdta.maryland.gov/Capital\\_Projects/NewNiceBridgeProject/Home](https://mdta.maryland.gov/Capital_Projects/NewNiceBridgeProject/Home)

- その他のプロジェクト案件も受注し、CFCC米国工場、北上工場ともに高稼働中

## 成長戦略の進捗状況 2

### C F C C<sup>®</sup> 送電線事業の海外展開

#### タイにて初実績(パイロットプロジェクト)

- HTLS電線(大容量低弛度電線)の使用実績がほとんどないタイ  
国営電力に対し、マレーシア電線メーカーと共同でアプローチし  
受注成功。無事完工し高い評価を得る
- 今後、数年内に年間500kmを目標に同国  
内での展開を拡大する

#### その他地区の状況

- インド・ブラジルで受注実績獲得



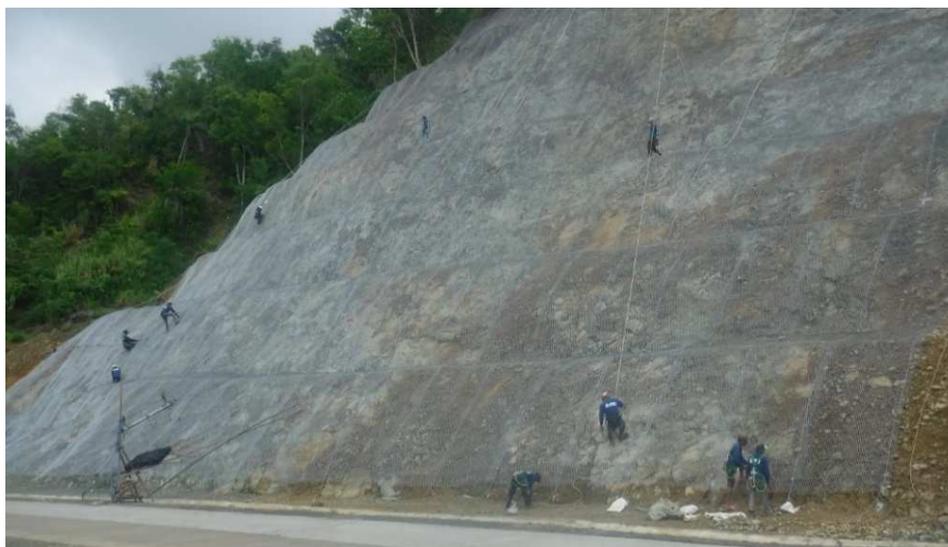
夜間作業による架設状況

## 成長戦略の進捗状況 3

### 防災製品の海外展開

#### フィリピン

- ルソン島バギオ地区に引続き、レイテ島北部およびセブ島での道路改良工事案件を受注



レイテ島にて地元ゼネコンによるマイティーネット施工状況

## 成長戦略の進捗状況 4

### 防災製品の海外展開

#### カザフスタン

- 期ずれしていたアルマティ市内エセンタイ川におけるRockboxによる護岸工事の新規案件入札が終わり、まもなくRockbox本体が受注できる見込
- 本案件はコロナ影響と石油価格下落に伴う失業者増加への国家雇用対策として登録された

#### ロシア

- ソチの新リゾート地区へのアクセス道路の防護工を現地合弁会社東京製綱エンジニアリングが受注

本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

本資料に記載された予測、予想、見込みその他の将来情報は、現時点で当社が把握可能な情報および一定の前提または仮定に基づくものであり、今後、経済情勢をはじめ、当社の業績に影響を与える様々な既知または未知のリスクによって、ここに述べられている見通しと実際の結果が、大きく異なる可能性があります。